

人間社会学部 体験学習関係科目(『学生生活ハンドブック2006』開講科目一覧表) 表1

科目名	単位数	配当年次	備考
社会調査方法論	2	2~4	短期FS準備授業
フィールドスタディ	2	2~4	短期FS
社会調査方法論	2	2~4	長期FS準備授業
フィールドスタディ (語学研修)	4	2~4	長期FS(チェンマイ大学内実習)
フィールドスタディ (地域実地講義)	4	2~4	長期FS(チェンマイ大学内講義)
フィールドスタディ (課題研究)	4	2~4	長期FS(現場体験・レポート)
フィールドスタディⅤ(課題研究)	4	2~4	長期FS(現場体験・レポート)
フィールドスタディ (ｽｯﾌﾟｱｯﾌﾟ)	2	2~4	短期FS・長期FS事後指導
サービスラーニング方法論	2	1~4	CSL準備授業
コミュニティサービスラーニング	1	1~4	CSL実践
コミュニティサービスラーニング	1	2~4	CSL実践
コミュニティサービスラーニング	1	2~4	CSL実践

長期FS体験実習先一覧(『2006年度長期フィールドスタディの案内』より) 表2

体験内容	派遣先
タイや北部タイの文化、伝統文化	チェンマイ市ランナー文化センター、メーワン川「村人カレッジ」
山岳民族の文化、伝統、宗教	フイトン村、トゥルアン村他
フェアトレード	ランナー・カフェ、インブンセンター他
有機農業	ISAC、ドンチアン村他
持続可能な開発や観光、自然資源管理、コミュニティ	メーホーソン県フエヒー村、パーサッカーム村他
地域開発・開発僧	the Foundation of Education and Development for rural area他
教育・障害者	アヌサーソトーン聴覚教育学校、コンユアム群/ソフォーマル教育セ
公衆衛生・薬物依存治療・リプロダクティブヘルス	メイカオトン保健所、チェンマイ薬物依存治療センター他
ハンセン病	トリサパワカン村、まっけーんリハビリテーションセンター
HIVエイズとその取組み	バンウンウェン村、バンラオ村他
ストリートチルドレン	チェンマイ・ドロップイン・センター他
児童労働、人身売買、児童福祉	Harbor House Foundation, Viengping Home for Children他

短期FS実施国及びテーマ(2006)(『2006年度長期フィールドスタディの案内』より) 表3

実施国・地域	テーマ
バングラデシュ	貧困と豊かさ、開発とNGOに触れる
インドネシア	ODAを通じた開発を学ぶ
沖縄八重山	シマの環境と開発
アメリカ合衆国	人々の多様な生活とその国際社会との結びつきを考える
オーストラリア	Their Land and Their Identity
ドイツ	あなたの隣人は誰か？
ヨーロッパ(オランダ、ドイツ)	ヨーロッパの宗教と音楽
タイ	開発と人権、多文化共生を考える
ニュージーランド	農林業の国、ニュージーランドで自然と人との関係を考えよう
フランス	イメージの都市パリ

外国語科目(『学生生活ハンドブック2006』開講科目一覧表) 表4

科目名	単位数	配当年次	備考
英語 ~	各2	1~2	~ 必修科目 短期FS実施国
独語 ~	各2	1~4	短期FS実施国
仏語 ~	各2	1~4	短期FS実施国
中国語 ~	各2	1~4	
韓国語 ~	各2	1~4	短期FS実施国
イタリア語 ~	各2	1~4	人文学部FS系科目実施国
スペイン語 ~	各2	1~4	
タイ語 ~	各2	1~4	短期FS・長期FS実施国
インドネシア語 ~	各2	1~4	短期FS実施国
ヒンディー語 ~	各2	1~4	短期FS実施国
基礎英語 ~	各2	1	
英語LL実習	各2	2~4	
Internet English	各2	2~4	
Current Affairs Reading	各2	2~4	国際社会学科専門英語科目
Current Issues Presentations	各2	2~4	国際社会学科専門英語科目
The World through Media	各2	2~4	国際社会学科専門英語科目

## 参加者のコメント抜粋(FSアンケート2003年4月実施及び2005年度活動報告)

表5

<b>タイ(2001年)</b> すべてが違っていた。何から何まで。授業は聞いているだけの受け身的なものだけれども、FSは自分の全身を使って自ら進んで学ぶことができる。また好きなもの、興味のあるものを学ぶことができる。
<b>インドネシア(2001年)</b> 授業の中では想像できない現地での学習は何よりも説得力があります。参加後、これまでに履修していない授業をいろいろと受けるようになりました。
<b>インド(1999年)</b> 実際に現地を訪れることで、普段私たちがキャンパスで受けている授業は、あたり前だけ”人間”を対象にしているんだと思った。その”人間”を肌で感じることで、彼らの目線で世界や物事が見れるような気がした。
<b>インドネシア(2000年)</b> 私自身も世界の一人の人間という自覚と平和を願う一人の人間という願望が生まれた。
<b>ドイツ(2000年)</b> 物事を一方向からだけではなく、何故それが起こったのかとかそれがどうなっていたのかということに気をするようになったと思います。人の考え方や意見には立場があって、いろいろな方向から見ていかないと偏ってしまうから、注意しなければならないとか考えるようになったのも、変わったかなと思います。
<b>バングラデシュ(2000年)</b> できれば、社会人という立場から途上国の人々に対して何らかの援助がしたいと考え、会社の理念でそれに適したところを選択した。
<b>長期タイ(2005年)</b> この半年間私なりに身体も心も精一杯使って『現場』から学んだ。それは偏差値で図れる学びではなく人生の糧になるような深い体験だった。この体験をただの『思い出』にしてしまうのではなく帰国後の具体的な活動へつなげていきたい。
<b>長期タイ(2005年)</b> この体験学習では、たくさんのことを見て、聞き、触れ、体験し、考え、学ぶことができた。自分から動くことで、必ず何か発見することがあり、人生、自分から動かなければ何も始まらないことも身をもって体験した。

体験学習プログラム実施数・応募者数・参加者数(1999 - 2006)

表6

